

## 大宮教会の皆さん、よろしくお願ひいたします

4月13日に大宮教会へ引っ越ししてきました。それ以来、いろいろな方々が入れ替わり立ち替わり私のところへやって来て、丁寧なご挨拶をしてくださいます。10年前に1年間、助祭としてご厄介になっていましたので、お顔は何となく覚えている、という方がたくさんいらっしゃいます。でも、スツとお名前が出てくるということは、なかなかありません。そのため、大変失礼な対応を繰り返しているのではないかと思います。この場を借りて、お詫び申し上げます。

新しく赴任する司祭には、当然のように、皆さん、お決まりの質問をなさいます……「好きな食べ物は何?」「おいくつ?」「ご出身は?」……そこで今回は、私の基本的個人情報をお伝えしたいと思います。1960年10月5日、午前4時10分、東京都中野区東中野に生まれました。この瞬間ヨーロッパでは、まだ前日の10月4日、アシジの聖フランシスコの祝日です。そこで、洗礼名にフランシスコを選びました。今年の誕生日が来たら63歳です。好きな食べ物はウナギとお寿司。お酒、たばこ、ギャンブル、そしてもちろんオンナ遊びは、全くしません。ミサの御血だけは、おいしくいただいております。

先日、4月30日の説教でもお話ししたように、不思議な力に導かれてカトリック所沢教会に通い出したのが41歳。1年間、ザビエル神父様に指導していただき、洗礼を受けたのが42歳。堅信は44歳。そして、何を勘違いしたのか、それは未だに分かりませんが、19歳の頃から28年間お世話になっていた受験業界から身を引いて、神学校に入ったのが47歳の時です。変わった経歴を持つ神学生の中でも、ひととき目立つ存在でした。

私、中学時代から、英語が一番の苦手科目だったんです。そんな私が、めいっぱい硬くなった脳みそをフル稼働させて、ラテン語、ギリシア語、ヘブライ語の勉強に挑んだ訳です。イエス様とマリア様の支えがなかったら、あるいは指導してくれた先生方の情熱がなかったら、続けられるはずがありません。私の力ではない別の力によって、何とか6年間の勉強に耐えられた感じです。そして、53歳でようやく司祭叙階を受けました。外国語の他にもう一つ、苦手なものがあります。それは料理です。面倒くさがって作らないのではなくて、作れないんです。定食屋さんとかスーパーのおそうざい、コンビニ弁当、そして奇様な信者さんから時々いただく差し入れ……そういった物で命をつないでいます。この面でも、多くの方々に助けられています。

これから大宮教会では、どんなことが待っているのでしょうか。お互いに欠点を補い合うようにしながら、皆さんと一緒に素晴らしい共同体を作っていきたいと思ひます。きっとイエス様とマリア様が支えてくださることでしょう。皆さん、どうぞよろしくお願ひいたします。